

広報 ㊦
No.703
令和4年

いいたて

9
2022



特集 いいたて夏のにぎわい



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

www.vill.iitate.fukushima.jp

目次 CONTENTS

- 2 話題「いいたて風の子マルシェ」
- 4 特集1「いいたて夏のにぎわい」
- 8 特集2「いいたてつ子 夏の旅」
- 12 飯館百景「晩夏を彩る花々」
- 14 ほけんとふくし「令和4年長寿番付」
- 15 報告「戦没者追悼式」ほか
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 村からのお知らせ
- 20 いいたてDIARY／までの食卓
- 21 はなれていても／ふれ愛館だより
- 22 ふるさと資源 発掘図鑑
- 23 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙

今月の表紙は、「いいたてナイター駅伝」に出場した「I B C」チーム。第4走者・星貴弘さん（上飯樋）からアンカー・大内亮さん（八木沢・芦原）へのタスキ渡しの場面です。上の写真は、ゴール後に息ぴったりでポーズを決める同チームの皆さん。関連記事はP24をご覧ください。

おいしく楽しく！『いいたて風の子マルシェ』

生産者×シェフの素敵な出会い。自慢の農産品が絶品料理に！

マルシェの会場で
ライブキッチンも

8月7日、「ふかや風の子広場」で、地元農産品の魅力を集めた『いいたて風の子マルシェ』とライブキッチン『飯館村deキャンプ飯』を開催しました。

夏の青空の下、天然芝の緑が広がる会場に、たくさんさんのテントが並びました。マルシェでは、生産者の皆さんが自慢の農産物を直接販売。また、ライブキッチンでは、料理番組でもお馴染みの大宮勝雄シェフが、飯館産のもち米「あぶくまもち」や牛肉、ジャガイモ、トマト、インゲンなどを使って、工夫いっぱいの絶品アウトドア料理を披露しました。

このライブキッチンの模様は、企画元のNHKエデュケーショナル「みんなのきょうの料理」がインスタライブ（インスタグラムによるライブ配信）で発信。大宮シェフ、進行役の後藤繁栄アナウンサーが、生産者や観覧者と親しく交流しながらレシピを紹介、飯館村の魅力もたっぷり伝えてくれました。



「あぶくまもち」をさらにおいしく

日本調理師専門学校（郡山市）が手掛ける食のプラットフォーム『THE』による「あぶくまもちシュウマイ」の試食会も行われました。モチモチ食感の「あぶくまもち」が、村産黒毛和牛の入った肉ダネの旨みをぎゅっと閉じ込め、甘味のあるタレとの相性も◎！多くの人が試食をしてアンケートに答えていました。

いいたて風の子マルシェ

テントが連なる「風の子マルシェの会場」。生産者の皆さんが、採れたて野菜や花などを販売。ライブキッチンも開催され交流の輪が広がりました。

ライブキッチン「飯館村deキャンプ飯」



大宮シェフ（右）と後藤アナが、軽妙なトークで笑いを誘いつつ、調理のコツをばっちり伝授。飯館のおいしい食材をふんだんに使った「もちもち！ステーキドック」「もちもち！野菜とチーズのキッシュ風」が完成しました。

今月の話題
vol.28



レシピやライブキッチン当日の様子は「みんなのきょうの料理」Instagramで。



Instagram

いたて 夏のにぎわい

7月・8月の飯館村は、盛りだくさんのイベントでにぎわいました。
きらめく夏の思い出を広報紙上で振り返ります。



はやま湖花火大会 2022.7.30



7月30日、大倉地区の「はやま湖(真野ダム)」で花火大会が開催され、村内外から訪れた600人を超える観客が、湖上に輝く花火を楽しみました。

夕暮れの湖畔で行われたオープニングの式では、地区に伝わる「大倉の神楽」が披露され、杉岡村長らがあいさつをして、来場した皆さんと、3年ぶりの開催を喜びました。

はやま湖の水辺で打ち上げられる花火は、漆黒の湖面に映え、特別な景色を浮かび上がらせます。また、湖に向けて放たれる「水中花火」は水面で華やかに咲き乱れ、大玉やスターメイン(速射連発の花火)は山々にこだまする打ち上げの響きも特別な迫力です。会場からはどよめくような歓声と拍手が起き、「こういう花火は初めて見たよ」と口々に観客も大満足の様子でした。



道の駅では「いいたて彩り野菜」も販売開始。彩り鮮やかでしかもお買い得！



いいたて村の道の駅までい館 2022.8.12 5周年感謝祭

晴天に恵まれた8月12日、開館5周年を迎えた「いいたて村の道の駅までい館」で、「5周年感謝祭」が開催されました。道の駅には、5年前のグランドオープンにも登場した渋谷公園通商店街振興組合・公認キャラクターの「くもつくる」とイイタネちゃんが再び登場。来場者を出迎え、楽しませました。

また、5周年に合わせ、『「飯館牛」ブランド復活応援プロジェクト第3弾』として、までい牛を使った「冷凍ハンバーグ」の販売がスタート。館内レストランでも、「までい牛ハンバーグ定食」が味わえるようになりました。

大人気！「までい牛ハンバーグ定食」（1日15食限定）のハンバーグプレート。ご飯とスープが付きます。



村産ビーフ100%。
「LaKasse」佐藤雄紀
シェフのレシピ、「村
カフェ753」の手作
りパンズで完成した飯館村オリジナル
バーガー。飲食ブースに初登場！



いいたて夏まつり 2022.8.7

飯館村商工会主催の『いいたて夏まつり』が「いいたて村の道の駅までい館」イベント広場で開催されました。工夫いっぱいの村内企業ブース、よさこい・ダンス・ものまねショー・じゃんけん大会などのステージイベント、ポニーの乗馬体験などを、家族連れが笑顔で楽しんでいました。

福島レッドホープス BCリーグ公式戦

「いいたて球場」にて、ルートインBCリーグ2022公式戦『福島レッドホープス対信濃グランセローズ（長野）戦』が行われました。「いいたて球場」でのBCリーグ公式戦は、令和2年7月以来の開催。1対5でレッドホープスは敗れてしまいましたが、多くの観客でにぎわいました。

2022.8.21



いいたてスーパーカーフェスティバル litate Super Car Festival 2022



2022.8.21

昨年に続き、「いいたて村の道の駅までい館」イベント広場で開催。ランボルギーニ、フェラーリなどのスーパーカー約50台が展示されました。会場には、全国各地から、大勢のスーパーカーファンが駆け付け、約4,500人の観客が減多にお目にかかれない圧巻のラインアップを鑑賞しました。villagefuturegroup〈ビレッジフューチャーグループ〉（長谷川芳博代表／伊丹沢）の主催。

カラオケ大会も。
かわいらしい出場
者にほっこり。



子どもたちが夏祭
りの縁日気分を
味わいました。



飯館町豊年盆踊り大会



2022.8 盆踊り大会

今年は飯館町、草野、二枚橋などで地域の盆踊りが開催されました。準備から片付けまで地元住民が協力して、心をつなぐお盆ならではの交流を楽しんでいたようです。飯館の夏が帰ってきました。

草野の盆踊り



二枚橋の盆踊り





P.H.C.S.で開かれたフェアウェル・パーティー（お別れ会）。和製英語の意味を当てもらうクイズを出したり、映像や「#映えないいたてトランプ」（情報満載！学園オリジナルのトランプ）を使って飯館村を紹介したり、英語でのプレゼンテーションを堂々とい行い、楽しいひとときを過ごしました。



授業に参加したり、宅配ピザでランチを楽しんだり、P.H.C.S.では、バディ（相棒）の助けをもらいながら、現地の学園生活を体験しました。さまざまなルーツを持つ生徒が互いの個性を受け入れ、自由に思いやりにあふれた学園生活を送っている様子から、オーストラリアの大らかな社会風土を感じることができました。英会話に加えて、翻訳アプリも駆使して、積極的にコミュニケーションを取ることができました。



多民族が心豊かに共生するオーストラリアで グローバルなWAKUWAKUを満喫！

フレンドリーな人々との出会いに心を開いて

羽田空港から、シドニー国際空港へ。「いいいたて希望の里学園」後期課程の生徒5人がオーストラリアへ降り立ちました。

シドニー市内観光を経て、パシフィック・ヒルズ・クリスチャン・スクール（P.H.C.S.）で同校生徒と交流。さらに3日目からはホームステイへと、フレンドリーなオーストラリアンとの交流は、5人の自信を育んでいきました。2回目のP.H.C.S.訪問では自ら進んでコミュニケーション。

フェアウェルパーティーでは、英語でのプレゼンテーションも大成功。充実の語学研修を展開しました。

また、多様な人種の共生、寛容で温かな社会の雰囲気、豊かなライフスタイルを体感できたことは大きな経験。魅力的なパソナリティとの出会いも、国境を越えた人と人とのつながりを実感させてくれました。旅に出たからこそ得られた成長は、それぞれの人生の宝物ですね。



有機農業を営む農場を訪問。日本通の娘さんと、日本食やアニメの話で盛り上がりました。



オーストラリアに到着。早速シドニー市内をめぐり、オペラハウスなどの観光名所を見学しました。



シドニーで過ごす最後の夜、旅の終わりを惜しみながら、ダーリングハーバーを散策しました。



サーファーやジョギングの人が行き交うマンリービーチで、思い思いに優雅なランチタイム。





栗山町での交流

栗山町の小学生と交流。飯館村のよさや学校生活の様子を心を込めて伝えました。また、バーベキューやスポーツ鬼ごっこなどを通して打ち解け、出会いのひとときを楽しんでいました。栗山町の皆さん、ありがとうございました。



支笏湖(しこつこ)でわくわくのカヌー体験!湖上から眺める雄大な自然は格別です。



栗山町の小学生「くりやまキッズ」と混合チームでスポーツ鬼ごっこを思いっきり楽しみました。



「D&D」(札幌市)で新聞づくりのワークショップ。イメージを表現する手法について学びました。



明治から昭和初期の建造物を移築・復元した「北海道開拓の村」。先人の足跡を学びました。



ハンバーグがおいしくて、牛の命の大切さを改めて考えて味わいました。

義樹さんは、北海道にいても飯館村のことを思っていました。ふるさとを愛しているんだと伝わりました。

「村に恩返しをしたい」という言葉が心に残りました。

薪割りが楽しかった。牛もとてかわいかった。

震災の避難の時の悲しいできごとを知りました。

菅野牧園にて

菅野義樹さん(最前列右端)の牧場を訪れた子どもたち。震災からのできごとや故郷への想いを話していただき、大きく心を動かされていました。併設のファームレストランでは、ここで育った黒毛和牛の牛肉を味わいました。



北海道からふるさとを見つめた学びの旅

新しい体験と出会いに いきいきトライ!

「いいいたって希望の里学園」の5・6年生14人が、北海道へ。

菅野義樹さん(比叡)が営む「菅野牧園」は、北海道栗山町にあります。菅野さんは、震災時の原発事故による避難から北海道で暮らし始めたことなど現在に至る経緯と、離れていても故郷について考え続けている自身の想いを子どもたちに伝え、アイデアいっぱい牧場経営についても分かりやすく教えてくれました。また牧場では、

出会いと体験から得たかけがえのない学び

薪割りや牛の餌やりなどを体験させてもらいました。

栗山町では同世代の栗山キッズとの交流も。スポーツ鬼ごっこやバーベキューを楽しみました。

さらに支笏湖ではカヌー体験で自然を満喫、札幌市でも「北海道開拓の村」の見学などさまざまなアクティビティで北海道を体感しました。

旅の記録には、タブレット端末を活用。一人ひとりが貴重な学びを持ち帰りました。



牧草ロールの上で



北海道

札幌市 ● ● 栗山町 ● 千歳市(支笏湖)



飯舘 百景

晩夏を彩る花々



道の駅の前に広がるオレンジ色のコスモス畑。



草野行政区の花壇。カラフルな百日草などが満開。



陽に透けるいいたてオリンピアの赤い花。

川俣線に近く、県道からの入口は、「とみじいの野草ガーデン」ののぼりが目印。関根松塚集会所方面へ向かう途中にあります。皆さんも、季節をめぐり長く咲く色とりどりのダリアを、楽しんでみてはいかがでしょうか。

また、「いいたて村の道の駅までい館」の向かい側にも、見事な花景色が広がりました。飯舘村振興公社が手入れを担う花畑で、さまざまな色のコスモス、サルビア、百日紅などが見頃を迎えています。

また、各行政区の皆さんが手がける花壇も、ますます美しく整えられ、個性豊かに地区の景観を彩っています。

そして今年もあちらこちらの庭や畑で「いいたてオリンピア」が美しく咲いています。数年をかけて株を大きく育ててきた畑もあり、秋にかけても注目です。

三浦富二さん（深谷）が、自宅に近い深谷地区市沢の畑を借りてつくったダリア園が、見頃を迎えました。およそ130種類、1700株が咲く、見応えのあるダリア園です。無料で開放していて、誰でも気軽に訪れることができます。

「つばみがたくさん付いていて、秋が深まる11月前半までは楽しめると思うよ」と三浦さん。球根を一緒に植えた家族が、手入れも手伝っています。

ダリア園は、県道原町

飯館村戦没者追悼式



終戦から77年
戦争の記憶を後世へ

8月23日、交流センター「ふれ愛館」で、『令和4年度飯館村戦没者追悼式』が行われました。追悼式は、3年に1度行われており、村関係者や「飯館村遺族会」「飯館村英霊にこたえる会」の各会員などが参列して、戦没者を追悼し、平和を祈念しています。

式では、出席者全員で黙とうを行い、杉岡村長が「戦争の悲惨さと平和の尊さ、平和を堅持する強い思いを次の世代にしっかりと継承して、真の平和の実現に努めなければなりません」と式辞を述べ、その後、出席者の代表らが献花を行いました。

追悼式の後には、「飯館村遺族会」と「飯館村英霊にこたえる会」の主催により、『飯館村戦没者慰霊祭』が行われました。

消防操法大会・代表チームのお披露目会を開催！

飯館村消防団(赤石澤傳団長／飯樋町)が、7月24日、第44回「福島県消防操法相馬地方大会」代表チームのお披露目会を、交流センター「ふれ愛館」駐車場にて開催しました。会には、杉岡村長、菊地昇飯館消友会会長(蔵平)、三瓶たつ子飯館村女性消防隊副隊長(大久保・外内)、渡邊富士男飯樋町行政区長、佐々木弘光飯館分署長が出席し、鍛錬の成果を観覧しました。

代表は「第二分団機動部」(飯樋町)で、指揮者・高野順吾さん、1番員・赤石澤智さん、2番員・古川真司さん、3番員・草野健太郎さん、補助員・荒竜也さんの5選手です。今年の5月から、毎週日曜日に訓練を重ねてきました。また、訓練には、多くの団員が村外からも駆け付け、協力を続けてきました。

操法の披露では、飯館分署職員が審査を行い、選手が本番同様の緊張感をもって訓練の成果を発揮。杉岡村長が、地域貢献への感謝と激励を伝えました。

7月31日に南相馬市小高区で開催予定だった同大会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い残念ながら直前で中止となりましたが、積み重ねられた訓練の足跡、披露された素晴らしい操法には、飯館村消防団の誇りと団結力が表れていました。



男性

99歳 今野義實(前田・八和木)
98歳 星 節(八木沢・芦原)

97歳 齊藤光一(八木沢・芦原)
97歳 中川廣男(宮内)

96歳 庄司孝夫(伊丹沢)
96歳 高橋政幸(八木沢・芦原)

95歳 杉浦一美(伊丹沢)
95歳 菅野昌基(宮内)
95歳 北山安信(飯樋町)
95歳 大谷八郎(上飯樋)
95歳 菅野仲治(蔵平)
95歳 菅野 功(関根・松塚)
94歳 志賀正二(小宮)
94歳 半澤文男(八木沢・芦原)

93歳 菅野宗光(草野)
93歳 久保内亨(大久保・外内)

92歳 佐藤利雄(前田・八和木)
92歳 菅野武治郎(比曽)
92歳 菅野正三(比曽)
92歳 佐藤正清(関根・松塚)

91歳 羽賀吉光(草野)
91歳 小林利雄(関沢)
91歳 大内清忠(佐須)
91歳 佐々木謹一(佐須)
91歳 小林信一(前田・八和木)
91歳 菅野 安(比曽)
91歳 菅野隆吉(比曽)
91歳 高橋與吉(長泥)
91歳 齋藤 隆(蔵平)

93歳 菅野宗光(草野)
93歳 久保内亨(大久保・外内)

92歳 佐藤利雄(前田・八和木)
92歳 菅野武治郎(比曽)
92歳 菅野正三(比曽)
92歳 佐藤正清(関根・松塚)

91歳 羽賀吉光(草野)
91歳 小林利雄(関沢)
91歳 大内清忠(佐須)
91歳 佐々木謹一(佐須)
91歳 小林信一(前田・八和木)
91歳 菅野 安(比曽)
91歳 菅野隆吉(比曽)
91歳 高橋與吉(長泥)
91歳 齋藤 隆(蔵平)



106
101

100

99
98

97

96

95

94

93

92

91

106歳 古川トミ子(伊丹沢)
101歳 桑名幸美(草野)
101歳 佐藤ナミヨ(伊丹沢)
101歳 阿部キノ(伊丹沢)
100歳 花井トヨ(伊丹沢)
100歳 志賀ヨシ子(蔵平)
99歳 大澤フチノ(上飯樋)
98歳 佐藤オイシ(伊丹沢)
98歳 佐藤ハルヨ(前田)
97歳 横田フミエ(草野)
97歳 佐藤フミヨ(伊丹沢)
97歳 五百川ミツ子(蔵平)
96歳 横山キクヨ(草野)
96歳 庄司ヤイ子(伊丹沢)
96歳 高倉アイ子(関沢)
96歳 小林ハル子(小宮)
95歳 目黒晴子(深谷)
95歳 菅野アサ(伊丹沢)
95歳 菅野ウメノ(伊丹沢)
95歳 菅野カツイ(小宮)
95歳 菅野千代子(比曽)
95歳 杉上タケ子(蔵平)
94歳 高橋ヤヨイ(草野)
94歳 藤原カネヨ(伊丹沢)
94歳 大内テルイ(佐須)
94歳 高野チヨ子(前田・八和木)
94歳 佐藤昭子(上飯樋)
93歳 齊藤昭子(深谷)
93歳 佐藤ヨシ子(伊丹沢)
93歳 木幡トヨノ(伊丹沢)
93歳 高橋キノ(関沢)
93歳 高橋保子(小宮)
93歳 大久保仲枝(宮内)
93歳 赤石澤イハ枝(飯樋町)
93歳 高野すみ子(前田・八和木)
93歳 佐藤ウメヨ(関根・松塚)
92歳 花沢秋子(草野)
92歳 松田ヨシイ(深谷)
92歳 佐藤ケサノ(伊丹沢)
92歳 菅野ミツ(伊丹沢)
92歳 菅野重子(伊丹沢)
92歳 新妻春子(伊丹沢)
92歳 庄司ハナノ(小宮)
92歳 佐藤ユキイ(大倉)
92歳 北原シヅイ(宮内)
92歳 佐藤シケ(飯樋町)
92歳 藤井喜江(上飯樋)
92歳 鳴原ワカ子(長泥)
91歳 横山アキ子(草野)
91歳 長谷川智恵子(伊丹沢)
91歳 星 ミサヨ(伊丹沢)
91歳 山田トシ子(伊丹沢)
91歳 田村スズエ(伊丹沢)
91歳 伊東キヨ(関沢)
91歳 清野スキノ(小宮)
91歳 佐藤キヨノ(大倉)
91歳 渡邊ハルミ(前田・八和木)
91歳 中島利知子(前田・八和木)
91歳 久保内マサイ(大久保・外内)
91歳 桑折トシイ(上飯樋)
91歳 菅野フクノ(比曽)
91歳 菅野ツメヨ(長泥)
91歳 佐藤カヨノ(二枚橋・須萱)

女性

101歳 坂本チヨ(伊丹沢)
101歳 山田マキヨ(伊丹沢)
101歳 荒二ミ子(飯樋町)
100歳 田村マツヨ(伊丹沢)
100歳 馬場保子(臼石)
99歳 高橋みつ(前田)
98歳 北原清子(宮内)

97歳 齊藤マツヨ(深谷)
97歳 佐藤ミサオ(上飯樋)

96歳 堀井リン(草野)
96歳 伊東シミイ(伊丹沢)
96歳 大内初子(関沢)
96歳 佐藤ヨシノ(八木沢・芦原)
95歳 花井ハルノ(伊丹沢)
95歳 山田美恵子(伊丹沢)
95歳 高橋キヨ子(小宮)
95歳 長谷川トメノ(宮内)
95歳 杉上キイ(蔵平)
95歳 半沢キクヨ(臼石)
94歳 庄司マシ(深谷)
94歳 渡邊きみ子(小宮)
94歳 菅野テルヲ(佐須)
94歳 星 志保(上飯樋)

93歳 新谷ヨシイ(伊丹沢)
93歳 長谷川キミノ(伊丹沢)
93歳 伊藤八重子(伊丹沢)
93歳 武藤貞子(関沢)
93歳 佐々木キヨイ(佐須)
93歳 北山ミツ子(飯樋町)
93歳 佐藤ミドリ(前田・八和木)
93歳 村上エイ子(上飯樋)
93歳 高橋カオル(関根・松塚)
92歳 但野カネ(草野)
92歳 市澤ナヲ子(深谷)
92歳 庄司ミイ子(伊丹沢)
92歳 菅野サワヨ(伊丹沢)
92歳 末永ケサ(伊丹沢)
92歳 高野トシヨ(伊丹沢)
92歳 郡 玲子(大倉)
92歳 阿部トキイ(佐須)
92歳 北山フヨノ(飯樋町)
92歳 荒 コフ(飯樋町)
92歳 高橋チイ(上飯樋)
92歳 新妻キヨ(蔵平)
91歳 菅野ハルヨ(伊丹沢)
91歳 山田ヨシコ(伊丹沢)
91歳 星 富枝(伊丹沢)
91歳 菅野ミイ(伊丹沢)
91歳 高橋圭子(伊丹沢)
91歳 菅野ナカ子(関沢)
91歳 酒井マサ子(小宮)
91歳 半澤ミヤ子(八木沢・芦原)
91歳 赤石澤秀子(飯樋町)
91歳 小林トヨ子(前田・八和木)
91歳 久保内スミ子(大久保・外内)
91歳 森ハナヨ(上飯樋)
91歳 高橋トキ子(上飯樋)
91歳 菅野ヨシ(長泥)

91歳以上の長寿番付を発表します。番付は令和4年4月1日現在のものです。なお、『令和4年飯館村敬老会』が、9月11日に開催される予定です(※8月26日現在)。新型コロナウイルス感染拡大状況により中止となる場合がありますので、お知らせ版等で最新の情報をご確認ください。

令和4年 長寿番付

ボタニカルジェルランタン教室 愛らしい花のランタンを制作



作業中の会話も弾み、有意義な時間を過ごした参加者の皆さん。講師を務めた大槻さん(中央)と。

8月18日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業『ボタニカルジェルランタン作り教室』を開催しました。講師は、地域おこし協力隊の大槻美友さん(草野)です。参加者の皆さんは、作り方を教わった後、色とりどりのドライフラワーから好みの花を選び、繊細な作業に真剣に取り組みました。約1時間の作業で、思い思いのデザインをまとったランタンが完成すると、参加者同士でうれしそうに見せ合いながら、「可愛いね」「きれいな色だね」と言葉を交わし、交流を深めていました。

学童保育の子どもたちが 時計の組み立てに挑戦！

7月22日、学童保育で、「福島大学地域未来デザインセンター・相双地域支援サテライト」が、『時計組立教室』を開催。1・2年生13人が置き時計、3～6年生8人が腕時計を製作しました。

教室では、日本時計協会の方から、時計の歴史について楽しいお話を聞きました。続いて作業に入ると、子どもたちは集中。技術者のサポートを受けながら、組み立て作業を頑張りました。完成した時計は「世界に一つだけの時計でうれしい」「目覚ましに使います」と大切に持ち帰りました。



(上) 置き時計は絵を描きシールを貼ってデザイン。
(右) 部品が小さな腕時計はルーペを使って作業。エンジニアの表情です。



木質バイオマス発電施設 建設工事安全祈願祭



「鍬入れ」を行う杉岡村長(右から2人目)と梶山雅生飯館バイオパートナーズ社長(左端)。

8月20日、蔵平地区に整備される木質バイオマス発電施設『飯館みらい発電所』の安全祈願祭が行われました。同発電所の運営会社は、飯館バイオパートナーズ(株)。令和6年春の運転開始を目指しており、地元雇用を含む30人程度が発電所で勤務する予定です。また、村をはじめとする被災市町村の間伐材や樹皮を年間約9.5万t使って発電・売電する計画で、あいさつした杉岡村長は、「里山の再生を進め、『ふくしま全体の復興』や脱炭素化に寄与する施設になる」と事業への期待を語りました。

「道の日」の道路美化活動 大切な道路を守っていこう

「道路ふれあい月間」と「道の日」に合わせて、8月10日に、地元の道路関連企業、県相双建設事務所、村の関連部署が共同で、県道原町川保線の清掃活動を行いました。

出発式では、「率先して道路をきれいにし、一般の方にも改めて道路に意識を向けていただく」と活動の意義を確認。約50人が、ゴミ袋を手に出発し、県道を歩いて路肩や歩道のゴミを丁寧に拾い集めました。暮らしに欠かせない大切な道路、日頃からきれいに大切に利用していきましょう。



交流センター「ふれ愛館」前で出発式を行い清掃活動を開始。



「宿泊体験館きこり」に 防火安全協会から表彰状



表彰の裏には、スタッフの皆さんが施設を守り続けてきた努力と、きこりを思う心があります。

7月28日、「宿泊体験館きこり」が、相馬地方防火安全協会から優良事業所として表彰されました。これは、消防法が定める技術基準に適合し、その維持管理が優秀で、過去10年以上無火災・無事故に努め、他の模範となる優良事業所に該当すると認められた表彰です。

「宿泊体験館きこり」は、平成6年に相馬地方防火安全協会飯館支部に入会してから27年間、無火災で、危険物施設の維持・安全管理及び事故防止に努めてきた実績が認められました。

大切な式を仲間とつくる 成人式実行委員会を初開催

8月12日、交流センター「ふれ愛館」で、『令和5年成人式実行委員会』の初回の会議が開かれ、新成人となる委員が話し合いを行いました。メンバーは、神代優太さん(大久保・外内)、佐々木太樹さん(二枚橋・須萱)、大谷結美さん(小宮)、細杉くるみさん(前田)、大和田惇さん(小宮)、荒研太さん(飯樋町)の6人で、仲間の推薦により神代さんが実行委員長に決まりました。協議では早速、来年1月に予定される式の概要を確認し、式典での役割分担や、記念パーティーの検討などを行いました。



左から佐々木さん、神代さん、大谷さん、細杉さん、荒さん、大和田さん。大切な式に、想いを込めます。

「お詫びと訂正」 広報いいたて8月号の「いいたて便り」に掲載した記事に誤りがありました。『社会を明るくする運動』で内閣総理大臣メッセージを伝達して下さった方々を「人権擁護委員」とご紹介しましたが、正しくは「保護司」の皆さんによる伝達でした。お詫びして訂正いたします。

来春の避難指示解除を目指して 長泥地区で準備宿泊が始まります

8月23日、国（原子力災害対策本部）と日程協議を行い、飯館村の特定復興再生拠点区域について、9月23日から準備宿泊が実施されることになりました。

村はこれまで、来春の避難指示解除に向け、長泥行政区の皆さんと話し合い・検討を続けており、今回の決定もこれまでの検討を踏まえたものです。

当日は、日程の決定を受けた後に、村長が記者会見を行い、住民への個別通知も始まりました。



〈準備宿泊とは〉

「ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊」を指します。避難指示が解除された場合に、円滑に生活を再開できるよう、希望する住民が、避難指示が継続している区域内に宿泊して準備作業を行うことができる制度です。準備宿泊には、事前の登録手続きが必要です。

〈事前登録について〉

令和4年9月12日から電話にて受付を開始します。

〈事前登録受付先〉

村づくり推進課企画定住係

☎0244-42-1613

※平日の午前8時30分から午後5時15分。
※宿泊開始の3営業日前までに登録してください。

8月の村の動きと主なできごと

- 1日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）
- 3・10日・語学研修事業 希望の里WAKUWAKUツアー（オーストラリア）
- 5日・令和4年度第2回「行政区長会議（交流センター）ふれ愛館」
- 5・6日・新型コロナウイルス4回目接種 集団接種（いちばん館）
- 6・7日・プール開放（いいたて希望の里学園・屋内プール）
- 6・9日・いきいきわくわく学びの旅（北海道・栗山町他）
- 7日・いいたて夏まつり（いいたて村の道の駅までい館）
 - ・いいたて風の子マルシェ（ふかや風の子広場）
 - ・NHKエデュケーショナル「みんなのきょうの料理」ライブキッチン／インスタライブ（ふかや風の子広場）
- 10日・「道路の日」道路美化活動（交流センター「ふれ愛館」／深谷地区他）
 - ・「あぶくまもち」水田の異形苗抜き「斉作業（前田地区）
- 12日・飯館村成人式実行委員会（交流センター「ふれ愛館」）
 - ・「いいたて村の道の駅までい館」5周年感謝祭（いいたて村の道の駅までい館）
- 18日・ボタニカルジェルランタン作り教室（交流センター「ふれ愛館」）
- 20日・「飯館みらい発電所」建設工事 安全祈願祭（蔵平地区）
- 21日・BCリーグ「福島レッドホープス」公式戦（いいたて球場）
- 21・22日・移住検討者向けモニターツアー「ミチシル旅」第1弾（村内各所）
- 23日・飯館村戦没者追悼式（交流センター「ふれ愛館」）
- 24日・「いいたて村文化祭」実行委員会（交流センター「ふれ愛館」）
- 25日・定例教育委員会（福島市）
- 26日・飯館村議会第6回臨時会（議場）
 - ・「もりの駅までい館」利用説明会（もりの駅までい館）
- 26・27日・新型コロナワクチン4回目接種 集団接種（いちばん館）
- 30日・新型コロナウイルス感染症対策本部会議（村役場）

話題のパレット

「座右の銘」を石に刻んで

村特産のみかげ石に刻まれた「座右の銘」が、道の駅の前庭に並んでいるのをご存知でしょうか。村に想いを寄せる皆さんが公募に応じ自費で建立してきた石碑群で、訪れる人にそれぞれの大切な想いを伝えています。

スポーツジャーナリストの増田明美さん、埼玉県吉川市の中原恵人市長、元県派遣職員の野本雅彦さん、前飯館村長の菅野典雄さん（佐須）ら8個人の新たな石碑が完成し、8月7日に完成披露式が行われました。



完成披露式でのひとこま。「座右の銘」は全22基に。

「花のある暮らし展」開催



展示の他、関連のワークショップも開催しました。

7月30日・31日に、キャンドル作家・大槻美友さん（草野）の「工房マートル」（上飯樋）で、企画展『花のある暮らし展』が開かれました。大槻さん制作のボタニカルキャンドルを中心に、ガラス製品や木工作品など、思わず手に取りたくなる暮らしのアイテムが並びました。花とキャンドルと雑貨の組み合わせ方など、提案の詰まった展示で、来場者が時間をかけて楽しんでいました。



「渋谷」とつながる果樹園がオープン

渋谷公園通商店街振興組合（東京都）の一員として復興支援を続け、一昨年に村に移住した塚越栄光さん（草野／写真前列左端）。交流の輪を新しい形で広げていこうと、『渋谷フラワープロジェクト飯館果樹園』を開園しました。初日の8月12日には、同組合公認キャラクター「くもつくる」やイイタネちゃん、村の子どもたちもお祝いに駆け付けました。



ブルーベリー畑でなごみの時間を

7月26日、市澤秀耕さん（深谷／写真右端）の畑で、「相馬広域こころのケアセンターなごみ」（南相馬市）の利用者さんがブルーベリー摘みを体験しました。市澤さんに熟した実の見分け方を聞いたり、「畑の緑が心地いい」と景色を眺めたり、清々しい時間を過ごしていました。隣接する「村カフェ753」では、ベーグルのランチも楽しみました。

仮設の中学校で最後の卒業式をした学年です。震災は小学2年生の終わり。地震に対する恐怖心がまだなくて、「何だこれは」と大きな揺れを楽しんでいたように記憶しています。原発事故が起きて、父の実家がある東京都へ避難。周りの大人の不安な様子は感じていました。

その後、福島市に移動し、川俣中学校を間借りした小学校へ通い始めました。3つの小学校が一緒になって、知っている人、知らない人が入り混じり、二方ですと緒だった人がいなくなつて、最初は混乱しました。今考えると、あの年齢だったから、適応していったのかなと思います。通学時間が長くなりましたが、友達とたわむれながらのバス通学はかえつてうれしいことでした。辛かったのは、ボツンと友達が



はなれていても

神代 優太さん（大久保・外内） 福島県福島市在住

転校していくことでした。もちろん転校をしても、そこでいろいろな出会いや体験があったと思いますが、村の学校でしか味わえなかったこと、できなかったことがたくさんありました。芸能界で活躍する人が訪ねて来てくれたり、外国の方たちとミュージカルをしたり。中学校の生徒会では、いろいろな学校との交流も行いました。伝統芸能、動画制作、それらの発表もよい経験となり、人前で何かをする時、すんなりできるようになつていました。

今回成人式の実行委員となりました（P16参照）。人生に1回きりのイベントですから、委員として準備と運営をしつかり進めたい。そして何より友達との再会が楽しみです。将来の職業もまだはつきり決まっていらない現在ですが、お世話になった飯館村の復興がこれからも続いていく中で、何らかの形で関わっていかねばと思っています。



第167回
芥川賞受賞
作です。

交流センター「ふれ愛館」だより
おすすめ図書を紹介します
読書の秋を楽しみましょう

「おいしいごはんが食べられますように」
著者：高瀬隼子
発行：講談社

第167回芥川賞受賞作品。心のざわつきが止まらず、職場でのリアルな三角関係が気になります。いろいろな食べ物と微妙な人間関係が描かれており、おいしいごはんを食べることは簡単なようで難しいのかもしれない。

地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー



8月に入り、「いいたて希望の里学園」の8～9年生の語学研修に同行し、オーストラリアへ行ってきました！子どもたちにとっては初めての海外。現地の学校と一緒に授業を受けたりランチを楽しんだり。週末にはホストファミリーに動物園やショッピングモールに連れて行ってもらったようです。オーストラリアのご飯の大きさに驚いたり、移民国家なので「様々な国や文化が違う人々と一緒に生活する」というのがどんな感じか少し垣間見えたのではないかと。たった1週間ではありましたが皆大きく成長しましたよ！（最後の方には日本食が食べたいという声がちらほら笑）



今月のライター
飯館村地域おこし協力隊
横山 梨沙さん

ナスは種類によって
形や大きさもさまざま。
食べ方もバリエーションが豊富です。



おいしい飯館！までいの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！



林 善美さん
（白石）

自宅を建て替え夫婦で帰村。畑でつくる新鮮野菜を道の駅にも出しています。

焼いても、茹でて、揚げてもおいしい

さまざまな野菜をつかって、道の駅の直売所に出しています。私は出身が韓国なので、いろいろな韓国料理をつくりますが、ナスは、焼いても、茹でて、揚げてもおいしいですから、韓国、日本、どちらの料理に使ってもいいなあと思います。ぜひおいしく、召し上がってください。



天ぷら粉にもち米の粉を混ぜ、塩と砂糖少々で味を付け衣にします。



茹でて冷ましたナスを長めに切り（手でさいてもOK）、醤油・ゴマ油（エゴマ油）・砂糖少々で味付け。みじん切りのネギ・タマネギ、唐辛子、ゴマをトッピングしてでき上がり。

半分に切ってヘタを取り、皮の表面に切り込みを入れてバター焼き。醤油とゴマ油（エゴマ油）でいただきます。好みで辛味を加えてください。





先人、先達の尊い 営みがあってこそ

第2回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ

おかげ様

ふるさと飯舘村の「味わい」を愛し、楽しむ「愛楽故郷味（あいらくふるさとみ）」。

8月15日。太平洋戦争の終戦から77年を迎えました。

『「千万（ちよろず）の命の上に築かれし平けき世を生くる悲しさ」この句を深く味わう夏が過ぎ、もう9月。収穫の恵みに喜ぶ長月となります。おかげ様と気付かされるほどに「せめてもの」の心と日々を大切にしたいと思います。』と昨年9月号巻末に掲載してから早1年。一日一日の大切さを感じる中、8月23日には3年に一度の飯舘村戦没者追悼式を執り行い、8月25日には村で41人目となる100歳をお慶び申し上げました。

百寿をお迎えになられたとは思えぬ矍鑠（かくしゃく）としたお姿で、終始ご起立のまま賀寿や記念品を受け取られ「生死紙」重の瞬間を生き抜いた経験が今につながっています」とのお言葉に、その時代、時代の苦難を懸命に力強く乗り越えてきた方々の営みあってこそ、このふるさと飯舘村であったと、目頭を熱く致しました。

最近、「わくわく」と言うキーワードを方々で聞くようになりました。「待ち遠しく感じること」「意欲を燃やせるものを見つけること」は『健やかさ』から生まれます。村でも県立医大や村医師との連携、つながる地域サロンでの介護予防活動などさらに力を入れていきます。

ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	出身地
草野 健太郎 さん	飯樋町
高畑 智香 さん	白河市

HAPPY WEDDING!

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
みなと 鳴原 誠夏音 くん	駿輔・楓恋	長泥

おくやみ

氏名	年齢	行政区
菅野 フクエ さん	85	前田
永澤 清二 さん	75	飯樋町
高野 タカ子 さん	93	前田・八和木
石黒 金七 さん	83	八木沢・芦原
本田 八郎 さん	75	草野

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき 令和4年7月31日現在

人口	今月（前月比）	7月1日～31日までの人口動態
●男	2,468人（-3）	転入 13人
●女	2,450人（+4）	転出 6人
計	4,918人（+1）	出生 1人
世帯数	1,811戸（-1）	死亡 7人
		（住民基本台帳人口）

（7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へ申し出てください。

ふるさと資源 発掘図鑑！



多彩な企画の交流会

村内外で毎月さまざまな交流会を開催している『いいたてネットワーク』（横山秀人代表／前田・八和木）。8月に開催したボッチャ・ヨガ・生葉藍染め交流会は、久しぶりに会う顔ぶれに会話が弾み、終始笑いが絶えなかったそう。「来年3月まで、楽しい交流会をたくさん企画しています」と横山さん。皆さんもぜひ参加してみてください。

仲間と楽しく「生葉藍染め」を体験。

皆さんからの情報や投稿でつくるページです

どなたでも投稿できるコーナーですので皆さんも身近な話題をどしどしお寄せください！

飯舘村広報委員会（村づくり推進課企画定住係）

☎0244-42-1613

ゴンボッパ栽培の指南役として希望の里学園にも協力

農地に故郷を重ねて



自宅横のハウスで。どの作物も力強い。

震災の年に、福島市荒井の休耕地を仲間と開墾し、農作業を通じた交流、村民支援に力を入れていた菅野哲さん（草野）。その地に居を構え、開墾地を生かして農業を続けています。当時の仲間とは今も畑で交流しているそう。「村で見えてきた先輩方の農業を手本に実践しているつもりです」。

村民広報委員 ふじおさんの



いいたて 宝さがし 第2回

「あ〜ら先生!」〜102歳の宝〜

過日、広報紙に載せるためのインタビューをしたいと連絡したら、突然、孫たちと総勢7人で、荒二子先生が我が家を訪ねて来てくれました。



現在102歳で、今は娘さんたちと仙台で、趣味の手芸などをして楽しく暮らしていると言います。少し耳は遠くなったと言いながら、とても元気で口調もなめらか、昔の先生のままに感じられました。子ども3人、孫10人、ひこ13人。飯舘での教員生活は33年。

当時、小学校の校庭には太い銀杏の木が2本あって、運動会ではその周りを走ったとか、松島への修学旅行の時は、米を持参して行かなければならなかったとか、そして教え子には80歳になる人たちがいると言います。懐かしく当時のことを語っていただきました。

またこんなエピソードも。皆で歌を歌う時に音痴な子どもには、「あんたは口だけ開けていればいい!」そんなこともあったと話してくれました。音痴な私にはとても優しい言葉に聞こえました。

尽きない話題の最後に、「飯舘村はふるさと! 教え子はいつまでも宝!」と語ってくれました。私たちも、「飯舘村はふるさと! 教えられた私たちもずっと宝!」でありたいと思っています。

県内各地から多くのチームが参加しました 熱く盛り上がった「いいいたてナイター駅伝」

大会結果は
村HPで!



晴天に恵まれた7月30日の夕刻から、「いいいたてスポーツ公園」で、『第1回いいいたてナイター駅伝』を開催しました。小学生の部、中学生の部、一般の部に、村内外から合わせて38チームが出場。観客・保護者・スタッフらの応援を受けながら、白熱のレースを繰り広げました。



暮れなずむ競技場で、中学生チームが一齐にスタート。

スタート&ゴールの陸上競技場にはカラフルなウェアの38チームが集結しました。球場の外周を含む周回コースで、小学生5km、中学生10km、一般15kmを、1チーム5人で駆け抜けます。いざレースが始まると、チームの垣根を越えた応援が始まり、最後のチームがゴールするまで会場中が拍手でエール。本気で、楽しく、笑顔があふれるレースとなりました。開始前から待ち受けた応援の方たちも、コースの至る所で笑顔と拍手の応援を送りました。

レース前には東洋大学陸上部OBによるランニング教室も開催。子どもたちに走る楽しさを伝えました。また、感染症対策を十分行中、参加者同士がレースを通して交流も楽しんでいました。



選手に声援を送る関係者や保護者たち。



レースの緊張感が漂う、一般の部のスタート前。



参加者に配付された記念タオル

〈編集後記〉

● イベント盛りだくさんだった8月も、あっといふまに過ぎ去ってしまいました。イベントを通して、飯館村を知っている方、知らない方、通るすがりの方など、本当に多くの方が足を運んでくださいました。そこに写るたくさんの笑顔が、村を明るくしてくれます。そんな皆さんにも届くような広報紙を目指します。(菅野)

● たくさんさんのイベント、事業が続いて、前進を肌で感じる夏でした。紙面でできごとを振り返り、「大人の本気」が底力だよなあ…としみじみ。夜のしっとりした霧で、季節の替わり目を感じるこの頃。次はどんな出会いや発見が待っているのか…実りの秋も楽しみです。(星)

Native Speakers 第17回

ネイティブ・スピーカーズ
飯館言葉の達人たち

こんまい、ずない
こずないなあ
※用法は諸説あります

その意味は…



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で!

飯館村 YouTube

